

平成24年度 第3学年 国語科 シラバス

月	章・単元	学 習 内 容	時間	達 成 目 標	主な評価方法	観 点 ① 関	観 点 ② 話聞	観 点 ③ 書	観 点 ④ 読	観 点 ⑤ 伝国
4	1 深まる学びへ	随筆 「朝焼けの中で」	3	◎文脈の中における語句の効果的な使い方など表現上の工夫に注意して読む。 ◎幼い頃の体験が筆者にどんな思いを抱かせたのか。筆者の自然や人間などに対する思いを捉え、自分の意見をもつ。	観察 ノート 定期テスト 自己評価	○ ○		○ ○	○ ○	○
		物語 「握手」	5	◎登場人物の生き方から、人の優しさや厳しさについて考える。 ◎人物の言葉や動作から、人柄や心情をとらえる。	観察 ノート 定期テスト 自己評価	○ ○		○ ○	○ ○	○
書く 説得力のある考えを述べよう 論説 「批評」の言葉をためる		6	◎考えの根拠を明らかにして、説得力のある文章を書く。 ◎批評文を書くために、知識を広げたり、深めたりする。 ◎語句の効果的な使い方に注意して読み、筆者の主張について自分の意見を持つ。	観察 ワークシート 発表 自己評価	○ ○ ○		○ ○		○ ○	
5		言葉1 和語・漢語・外来語	1	◎和語・漢語・外来語の使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにする。	観察 ノート 定期テスト 小テスト 自己評価	○ ○		○		○ ○
		練習 評価しながら聞こう	1	◎自分の考えと比較し評価しながら相手の考えを聞き、自分のものの見方や考え方、表現のしかたに役立てる。	観察 ワークシート 発表 自己評価	○ ○	○	○		○
		書写（毛筆） 「流れる雲」 行書と仮名の調和 配列・位置	3	◎行書とともに書く平仮名の始筆・終筆の特徴について知り、筆使いに慣れる。 ◎漢字と平仮名の大きさを比べ、行書と平仮名の調和の仕方を理解する。	観察 作品	○		○		
		説明 「月の起源を探る」	4	◎文脈の中における語句や図の使い方などに注意して読み、筆者の論理展開のしかたを捉えて評価する。 ◎科学的なものの見方や研究方法を知り、それらについて自分の考えをもつ。	観察 ノート 定期テスト 自己評価	○ ○		○ ○	○	○
		練習 推敲して、文章を磨こう	1	◎書いた文章を読み返し、文章全体を整える。 ◎推敲をする際のポイントを知る。	観察 ワークシート 自己評価	○ ○		○ ○		○
		話す聞く 自分の魅力を伝えよう 記者会見型スピーチをする。	3	◎聞き手の求める情報を的確に捉え、自分の経験や知識を整理し、用いる語句を工夫して話す。 ◎聞き手の反応に応じて説明や話し方を工夫し、聞き取った内容や表現のしかたを自分の表現に生かす。	観察 スピーチメモ 発表 発表の評価記録 自己評価	○ ○	○	○ ○		○ ○
6	2 多様な視点から 豊かな言葉	漢字1 熟語の読み方	1	◎「重箱読み」「湯桶読み」の原則を理解して、音訓を意識して読むことができる。	観察 ワークシート 定期テスト	○ ○				○
		書写（硬筆） 「行の整え方」	1	◎行の整え方や、行書に調和する仮名の書き方を知る。 ◎行頭と行末の位置を知る。 ◎文字の大きさや配列に気を付けて書く。	観察 作品 定期テスト	○		○		○
		俳句・解説 「俳句の可能性」 俳句 「俳句16句」	3	◎俳句について理解し、表現の深さを味わう。 ◎感動の中心が効果的に伝わるように、語句や語順に注意して俳句を作る。	観察 発表 ワークシート 定期テスト 自己評価	○	○	○ ○ ○	○ ○	○ ○
		言葉 「言葉を使おう」 もっと「伝わる」表現を目ざして	2	◎場の状況や相手に応じて言葉の選び方や伝え方を考え、互いの考えが生かせるようにする。	観察 ノート 定期テスト 自己評価	○ ○	○	○		○
		文法への扉1 すいかは幾つ必要？	2	◎文の成分の順序や構成など、文法についての理解を深め、日常生活や学校生活の中での表現や読解に生かす。	観察 ワークシート 小テスト 定期テスト	○ ○				○ ○
7	3 伝える情報 読書と 技を	書写（毛筆） 「創造の喜び」 行書と仮名の調和 配列と位置	3	◎行書に調和した仮名の書き方に気を付けて書く。 ◎配列・配置に気を付けて書く。	観察 作品	○		○		
		読書活動 「読書生活をデザインしよう」 未来の私にお薦めの本	1	◎自分の読書生活を振り返り、今までの読書傾向を分析する。 ◎読書案内や書評を参考にこれからの読書生活を考える。	観察 ワークシート 自己評価	○		○	○	○
		小説 「蝸の声」	2	◎登場人物がそれぞれどのような思いを抱き、どのように感じたのかを	観察 ノート	○ ○				

				考える。	定期テスト 自己評価			○	○	○
		小説 「高瀬舟」	2	◎登場人物同士の関係を正しく捉え、二人の会話を通して、命の重みについて考える。 ◎作品を読み味わい、人間の生き方について考える。	観察 ノート 定期テスト 自己評価	○ ○		○	○	○
		随筆 「光で見せる展示デザイン」	1	◎仕事に情熱を傾ける筆者の思いや意図を読み取る。	観察 ノート 定期テスト 自己評価	○ ○		○ ○	○	○
		書写（硬筆） 文字の大きさと配列	1	◎行の中心と文字の中心を考えながら、整えて書く。 ◎文字の大きさや配列に気を付けて書く。	観察 作品	○		○		
9	4 状況を読む	物語 「挨拶」 原爆の写真によせて	2	◎表現に着目しながら、詩に一貫して流れている主題について考える。 ◎詩に表現されている主張を、現実の世界の在り方と対応させながら読み取る。	観察 発表 ノート 定期テスト 自己評価	○ ○	○	○ ○	○	○
		書写（毛筆） 文字の大きさと配列	2	◎字間や行間がどうなっているか考えながら書く。 ◎文字の大きさや紙面に対する調和のさせ方を知る。	観察 作品	○		○		
		練習 話し合いを効果的に進めよう	1	◎資料などを活用して説得力のある話をし、話し合いが効果的に展開するように進行のしかたを工夫する。	観察 ワークシート 自己評価	○	○	○		○
		言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語	1	◎慣用句・ことわざ・故事成語などの知識を広げる。	観察 ワークシート 自己評価 小テスト	○ ○		○		○ ○
		書く 文章の形態を選んで書こう 随筆 「記憶」と「資料」	5	◎文章の形態を選択して適切な構成を工夫し、書いた文章を読み返して文章全体を整える。 ◎文章の構成や表現の工夫などを評価し合い、ものの見方や考え方を深める。 ◎語句の使い方など表現上の工夫に注意して読み、知識を広げ自分の考えを深める。	観察 作品 定期テスト 自己評価	○		○ ○ ○	○	○
10	5 いにしえの心と語らう	古文・音読 「古今和歌集 仮名序」	1	◎仮名遣いに注意して音読し、言葉の響きや調子を味わう。	観察 音読 ノート 自己評価	○ ○	○	○		
		「君を待つと」 （「万葉・古今・新古今」から）	2	◎和歌に表れた昔の人の思いや情景を読み味わうとともに、和歌に歌われている人間や自然などについて考える。 ◎和歌の効果的な表現や語句の使い方をとらえる。	観察 音読 ワークシート 定期テスト 暗唱 自己評価	○ ○	○ ○	○	○ ○	○ ○
		「夏草」 （「おくのほそ道」から）	3	◎作者のものの見方や感じ方を読み取る。 ◎文語文を表現のしかたや文体の特徴に注意して読み味わう。	観察 音読 定期テスト 自己評価	○	○	○ ○	○	○
		古文・解説 「古典の伝統」 練習 「お薦めの古典を贈ろう」	2	◎古典作品について書かれた文章を読み、古典の世界に親しむ。 ◎現代まで生き続けてきた古典の描写や表現の工夫を知り、それぞれの作品を読み比べる。 ◎古典に取材して自分の考えを深め、古典の一節を引用しながら、文章の形態や構成、表現などを工夫して文章を書く。	観察 ノート 作品 自己評価	○ ○		○ ○		○
		「学びて時にこれを習う」 （「論語」から）	2	◎昔の人のものの見方や考え方を読み取る。 ◎漢文特有の言い回しに注意して音読し、読み慣れる。	観察 音読 ワークシート 定期テスト 自己評価	○	○	○ ○ ○	○ ○	○ ○
11	6 論旨を捉える	小説 「故郷」	5	◎人物を取り巻く状況や時代背景を考えながら読み、社会と人間とのかかわりを考える。 ◎情景や人物を描写する語句や表現に着目し、人物の心情や作者の意図を読み取る。	観察 ノート 定期テスト 自己評価	○ ○		○ ○	○	○
		論理の比較 「論理の展開に着目して読もう」 新聞の社説を比較する	3	◎二つの社説を読み比べ、論理の展開のしかたを捉えて内容の理解に役立てるとともに、構成や展開、表現のしかたについて評価する。 ◎社説から学んだことを生かして、論理の展開を工夫し、資料を引用して意見を主張する文章を書く。	観察 ノート 定期テスト 自己評価	○ ○		○ ○	○	○
		話す・聞く		◎社会的な課題についての解決策を	観察	○	○			

12		「課題解決に向けて話し合おう」 社会への提案をまとめる	5	話し合う方法を知る。 ◎話し合いが効果的に展開するように進行のしかたや言葉遣いを工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合う。	ノート ワークシート 自己評価	○		○		○
		文法への扉 2 「ない」の違いがわからない？	2	◎中学校で学習学習した文法の知識を確かめ、理解を深める。	観察 ノート 定期テスト 小テスト 自己評価	○ ○		○		○ ○
		論説 「ネット時代のコペルニクス」～知識とは何か～	5	◎情報化社会の可能性と困難について考える。 ◎抽象的な語句に注意して論理の展開のしかたを捉え、比喩の役割など表現のしかたに注意して読む。	観察 ノート 定期テスト 自己評価	○ ○		○ ○	○	○
		漢字 2 漢字の造語力	1	◎漢字の造語力について知り、語彙を豊かにし、文や文章の中で使うことができる。	観察 ノート 定期テスト 自己評価	○ ○		○		○
1	7 未来へ向かって	話す・聞く・書く 3年間の歩みを編集しよう～ポートフォリオを編み、語り合う～	6	◎三年間の国語の学習から取材して伝えたいことを決め、ポートフォリオの構成を工夫し、作品を評価し合うことで自分の表現に役立てたり、ものの見方や考え方を深めたりする。	観察 ワークシート 定期テスト 自己評価	○	○	○ ○ ○		○
		随筆 「アラスカとの出会い」	3	◎作品を読み、人間・社会・自然などについて考えるとともに、筆者からのメッセージを読み取る。	観察 ノート 自己評価	○ ○		○	○	○
2		漢字 3 漢字のまとめ	1	◎これまでに学んできた漢字についてのさまざまな問題を振り返り、確認する。	観察 ノート 小テスト	○ ○				○
		随筆 「温かいスープ」	2	◎自らの経験と重ね合わせながら、筆者の受けた感動を読み取り、これからの自分の生き方について意見をもつ。	観察 ノート 自己評価	○ ○		○	○	○
3		評論 「聴くということ」	2	◎文脈における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、これからの自分の生き方について意見をもつ。	観察 ノート 自己評価	○		○	○	○
		詩 「わたしを束ねないで」	2	◎作者の思いや、ものの見方や感じ方をとらえることができる。 ◎詩の特徴を生かして朗読し、人間・社会・自然などについて考え、自分の意見をもつ。	観察 発表 ノート 自己評価	○ ○	○	○		○
		硬筆	1		観察 ワークシート	○		○		
合計時数		1 0 5								

観点① 関心・意欲・態度
観点④ 読む

観点② 話す・聞く
観点⑤ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

観点③ 書く

第3学年国語科の評価規準

- ① 関心・意欲・態度
 - ・課題に対して前向きに取り組み、きちんと提出することができる。
 - ・授業を大切にし、積極的に参加することができる。
- ② 話す・聞く
 - ・音読や暗唱、発言など、積極的に声を出して発表することができる。
 - ・自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話したり、聞いたりすることができる。
- ③ 書く
 - ・文字を正しく丁寧に書くことができる。
 - ・様々な材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表すことができる。
- ④ 読む
 - ・文章の構成をつかみ、内容を正確に理解することができる。
 - ・登場人物や作者のものの見方や考え方を読み取ることができる。
 - ・広い範囲から情報を集め、効果的に活用することができる。
- ⑤ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
 - ・漢字の読み書きが正しくできる。
 - ・ことばのきまりを理解し、社会生活の中で適切な言葉遣いができる。
 - ・歴史的な背景などに注意して古典を読み、その世界に親しむことができる。